

### ③ 臨床教育プログラムワークショップ

平成20年4月24日(木) 19:00~21:00  
長崎市医師会館 7F 講堂

講師：木澤 義之先生  
参加人数：240名

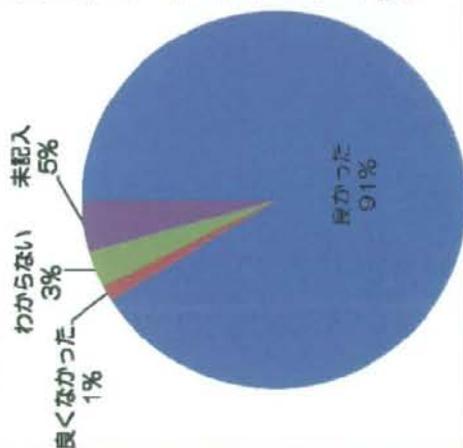
(医師75名、看護師89、薬剤師56、MSW7、その他13)



### リンクスタッフ講習会(多職種向け)(H20.2.27)の一部 講演会内容について

今後へのご意見

- ・具体的事例
- ・地域プロジェクトの各種種での関わり方や役割講習会
- ・在宅で多職種が関わった実際の緩和ケア症例の報告
- ・疼痛以外の症状コントロールの方法
- ・チームコミュニケーションや地域別少人数での研修会を希望
- ・患者、家族などから体験談
- ・ケアの実践に役立つ具体的な知識と技術
- ・ホスピス病棟の緩和ケア(看護や介護)の実践
- ・終末期の在宅療養に関する診療報酬について(特に訪問看護)
- ・関連する研修会には、医師がもっと参加してほしい

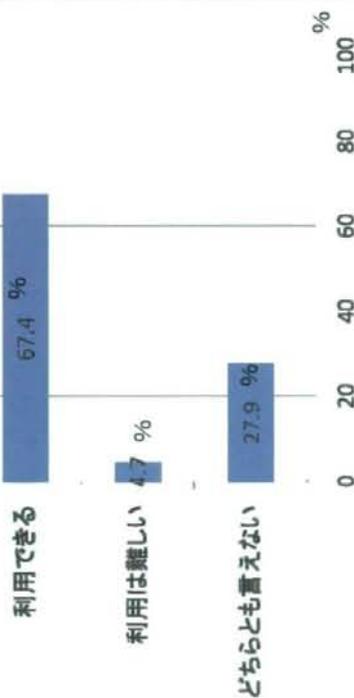


### 臨床教育プログラムワークショップアンケート(H20.4.24)の一部

#### 2. 講習会についてお尋ねします

② 臨床教育マテリアルのマテリアルを貴施設で利用できますか？

参加者総数：240名 回答者数：86名 (回答率：35.8%)



### 臨床教育プログラムワークショップアンケート(H20.4.24)の一部

#### 2. 講習会についてお尋ねします

②-1 ②の質問で利用は難しいとお答えの方は、よろしければ具体的な理由を教えてください

- ・医師の理解が得られるか
- ・研修を拝聴して、我々の現場でどのようにマテリアルを活用するかイメージできないから
- ・緩和ケアに興味を持つ人が少ないから
- ・ステップ緩和ケアテキスト小さい、読みづらいです
- ・多忙な外来のなかで、人数的、時間的に難しい
- ・外来診療時間内に利用できるのか
- ・全科の診療室に配置することができるか

#### ④ 地域連携のための講習会

「この町で安心して暮らし続けるために」～願いがかなう地域づくり活動～  
平成20年7月25日(金) 19:00～21:00  
長崎市医師会館 7F 講堂

講師：秋山 正子先生

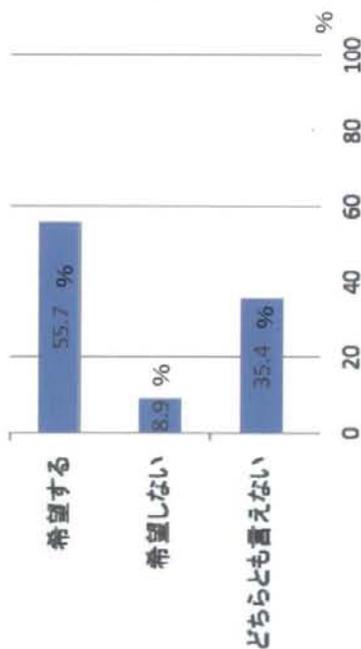
参加者数：246名

(医師17名、看護師106名、薬剤師17名、MSW9名、ケアマネ55名、その他42名)  
アンケート実施：回答者156名(回収率59.3%)



#### 臨床教育プログラムワークショップアンケート(H20.4.24)の一部 4. 今後、「臨床教育プログラムワークショップ」のような内容の研修会を貴施設で開催することを希望されますか？

参加者総数：240名 回答者数：79名 (回答率：32.9%)



#### 今後の地域連携のための講習会へのご意見

##### 《扱ってほしいテーマ》

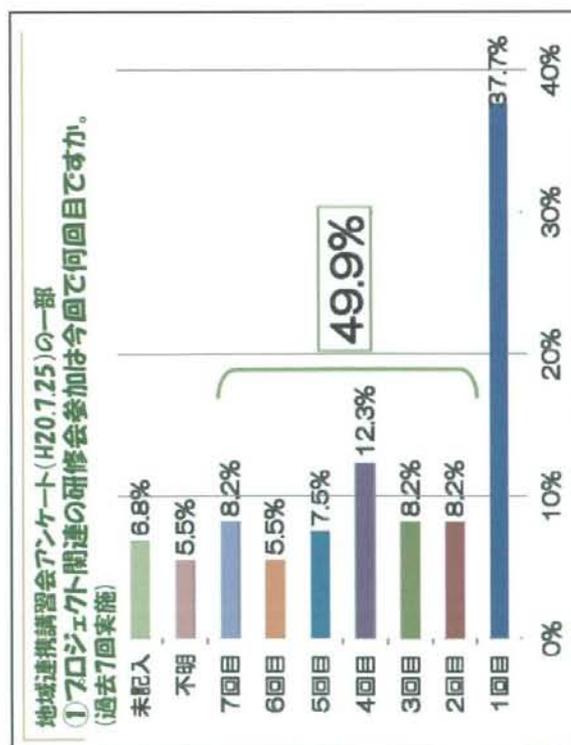
- ・ 退院支援
- ・ 実践している医師・看護師による緩和ケア、疼痛症状緩和についての講義
- ・ 一般診療がになう役割について語ってほしい聞きたい
- ・ グリーフケアや末期の患者さんの心に寄り添う言葉かけの実践と講義
- ・ バリテーション
- ・ 終末期の輸液（濃厚医療）の必要性や医師との良い連携のしかた
- ・ 中央（東京）在宅の現状を研修してほしい
- ・ 疼痛緩和に関してチーム連携のあり方
- ・ 介護の面からの経験談。終末期は短期で展開するので難しいです。

##### 《話を聞いてみたい講師》

- ・ 医療従事者だけでなく、利用者・家族側からの生の話（看取りも含め）
- ・ 木澤先生（つくば総合メディカルセンター）、林先生（聖路加HP）、的場先生・アメリカ人の専門講師
- 《やってみたい方法》
- ・ グループワークや事例体談

#### ⑤ その他の研修会（後援・共催など）

- **長崎地域連携懇話会(後援)** 緩和ケア症例検討のロールプレイ  
平成20年6月21日 ロワジールホテル  
ファシリテーター：中尾先生 北條先生 後藤先生  
参加人数：48名(医師・看護師)
- **長崎在宅Dr.ネット症例検討会(後援)**  
平成20年7月9日(水) 長崎県看護協会  
講師：行成先生 安中先生 看護師他  
参加人数：157名(医師・多職種)
- **がん診療連携拠点病院研修会(原爆病院との共催)**  
「がん患者の退院支援・調整」  
平成20年8月22日(金) ブリックホール  
講師：宇都宮 宏子先生(京大附属病院)  
参加人数：216名(医師・多職種)
- **第7回長崎緩和ケアセミナー(後援)**  
平成20年9月6日(土) 医学部記念講堂  
講師：松島 英介先生(東京医科歯科大学 準教授)  
参加人数：248名(医師・多職種)



1. 緩和ケアの標準化と継続性の向上について実施した内容

講演会・ワークショップ開催状況  
医療従事者・他職種向け研修

日時	会場	テーマ						講師
4月25日 19時～21時	長崎市医師会館	臨床教育プログラムワークショップ						木澤 義之先生
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	75 89	56	7		13	240		
日時	会場	テーマ						講師
5月21日 19時～20時	長崎市医師会館	PCAボンブ研修会						スミスメディカルジャパン
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
		4	4	コアリンクナース所属の訪問看護施設限定にて実施				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
		18				18		
7月25日 19時～21時	長崎市医師会館	地域連携講習会「この町で暮らし続けるために」						秋山 正子先生
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	17 106	17	9	55	42	246		
日時	会場	テーマ						講師
8月9日	長崎市医師会館	地域連携講習会(DVD講習)						
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	17名	9名	2名	19名	4名	51名		
日時	会場	テーマ						講師
8月23日	長崎市医師会館	地域連携講習会(DVD講習)						
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	16名	7名	3名	17名	1名	44名		
日時	会場	テーマ						講師
8月22日	ブリックホール	「がん患者の退院支援」						宇都宮 宏子先生
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	13名 139名	7名	8名	20名	39名	226名		
日時	会場	テーマ						講師
9月6日	医学部記念講堂	第7回長崎緩和ケアセミナー						松島 英介先生他
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
						248名		
日時	会場	テーマ						講師
9月10日	長崎市医師会館自己学習室	第6回在宅医講習会						DVD講習
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	11名					11名		
日時	会場	テーマ						講師
9月11日	長崎市医師会館自己学習室	第7回在宅医講習会						中根先生
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	12名					12名		
日時	会場	テーマ						講師
9月17日	長崎市医師会館自己学習室	第8回在宅医講習会						北条先生
参加施設数	病院 診療所	その他	計	備考				
参加職種	医師 看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	11名					11名		

日時	会場	テーマ							講師
9月18日	長崎市医師会館自己学習室	第9回在宅医講習会							富安先生・出口先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	13名						13名		
日時	会場	テーマ							講師
H20.10.15(水) 19:00～21:00	長崎市医師会館 3階 自己学習室	第10回在宅医講習会「がんの進行と消化器症状」							富安先生・出口先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	6名						6名		
日時	会場	テーマ							講師
H20.10.16(木) 19:00～21:00	長崎市医師会館 3階 自己学習室	第11回在宅医講習会「症状緩和ーがんの痛みメカニズムと診断、治療」							DVD講習
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	5名						5名		
日時	会場	テーマ							講師
H20.10.18(土) 16:00～	長崎市医師会館 2階 講堂	第1回 病診連携フォーラム in 長崎 「患者本位の地域医療連携と在宅医療」							片山 壽 先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	27名						216名		
日時	会場	テーマ							講師
H20.10.22(水) 19:00～21:00	長崎市医師会館 3階 自己学習室	第12回在宅医講習会「がん患者・家族とのコミュニケーションと精神症状のコントロール」							DVD講習
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	12名						12名		
日時	会場	テーマ							講師
H20.10.23(木) 19:00～21:00	長崎市医師会館 3階 自己学習室	第13回在宅医講習会「緩和ケアと地域連携」							DVD講習
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	7名						7名		
日時	会場	テーマ							講師
H21.1.28(水) 19:00～21:00	長崎市医師会館 2階 講堂	緩和医療・がん医療における精神医学講習会							中根 秀之 先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	32名					9名	41名		
日時	会場	テーマ							講師
H21.2.14(土) 14:00～17:00	長崎市医師会館 3階 自己学習室	がん性疼痛についてのワークショップ							中尾 勤一郎 先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	13名						13名	ファシリテーター(医師6名、看護師3名)	

「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」

市民啓発



① 市民公開講座：5月24日開催(1/2)

7099名

「がんの痛みを苦しまないで。～住みなれた家、住みなれた長崎～」

「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」

「がんの痛みを苦しまないで」

「住みなれた家、住みなれた長崎」

2008年5月24日(土) 14:00～17:00  
長崎市医師会 7階 講堂  
長崎市医師会館 7F 講堂

参加人数 413名  
一般市民 217名  
医療関係者 214名

① 市民健康講座の参加状況と様子(2/2)

長崎市医師会 市民健康講座

「がんの痛みを苦しまないで」

～住みなれた家、住みなれた長崎～

平成20年5月24日(土) 14:00～17:00  
長崎市医師会館 7F 講堂

講師：的場 元弘先生、武田 又和先生 他4名  
参加者数：431名(一般市民217名、医療従事者214名)




② 市民公開講座：11月29日開催

「がんの痛みを苦しまないで」

～あなたの家にかえろう～

「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」

「がんの痛みを苦しまないで」

～あなたの家にかえろう～

2008年11月29日(土) 14:00～18:10  
長崎市医師会 7階 講堂  
長崎市医師会館 7F 講堂

参加者数：184名  
一般市民：71名  
医療関係者：113名

### ③ 地域住民(患者・家族を含む)に対する 広報活動への取り組み(1/2)

- 上長崎地区自治会連合会説明会 出席者：会長以下17名  
6月2日(月)19:00～下西山町センター
- 矢の平老人会説明会 出席者：会長以下28名  
7月19日(土)11:00～ 矢の平公民館  
使用資料：啓発リーフレット・冊子・「我が家に帰ろう」・スライド



### ③ 地域住民(患者・家族を含む)に対する 広報活動への取り組み(2/2)

地域心れあい医療懇話会  
長崎地域責任者(野田会長)長崎地域担当者(白髭)が  
出席し、自治会長へ説明

- 東部 7月29日(火)  
長崎市保健環境自治連合会：7名 市医理事：13名 市職員：1名
- 西部 8月4日(月)  
長崎市保健環境自治連合会：10名 市医理事：14名 市職員：3名
- 南部 8月11日(月)  
長崎市保健環境自治連合会：10名 市医理事：15名 市職員：2名
- 北部 8月25日(月)  
長崎市保健環境自治連合会：10名 市医理事：14名 市職員：2名

### ④ 緩和ケアを知る100冊の設置

- 設置場所
- 長崎市立図書館
  - 長崎大学医学部・医学部付属病院  
設置場所：院内ラウンジ
  - 日本赤十字長崎原爆病院  
設置場所：療社会事業部・面談室
  - 長崎市立市民病院  
設置場所：地域医療連携室・面談室
  - 長崎がん相談支援センター  
設置場所：面談室

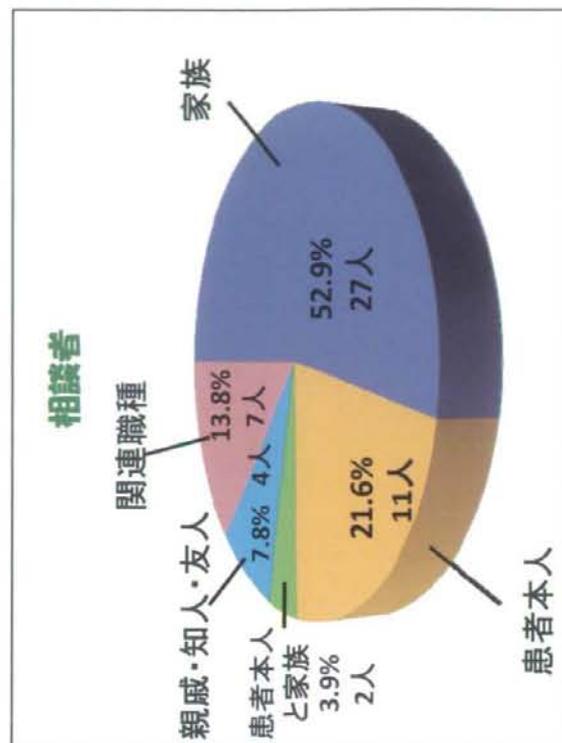
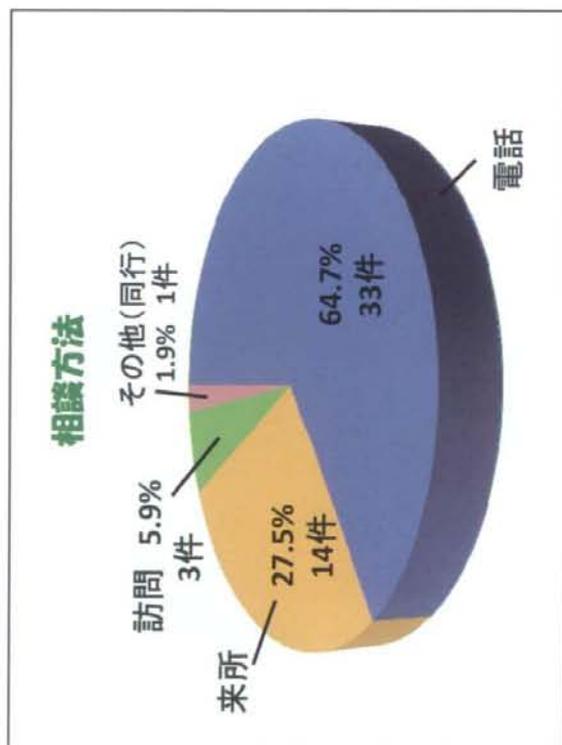
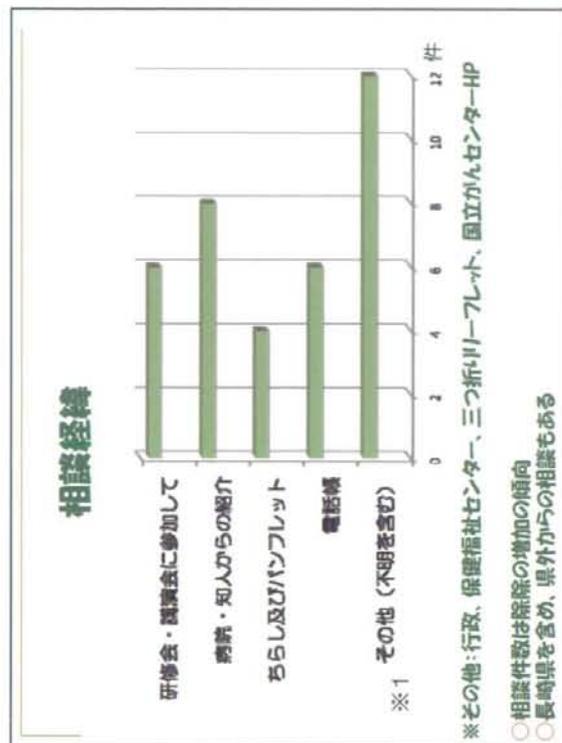
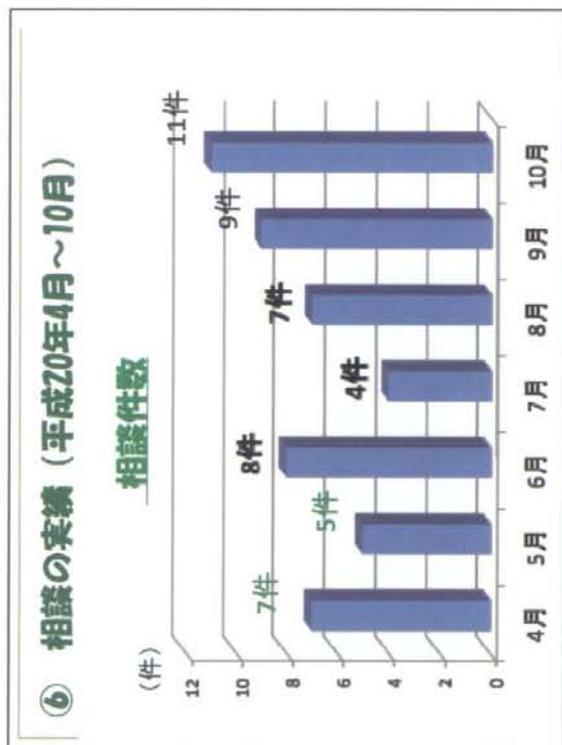


- 貸出にあたり
- 市立図書館以外の施設に対して、100冊リストに沿って本にナンバースートを貼る。
  - 本の最終ページに貸出カードを貼る。
  - 貸出簿を作る。
  - 病院の各病棟と外来にリストを置く

### ⑤ 長崎がん相談支援センターの案内

#### 案内チラシの配布

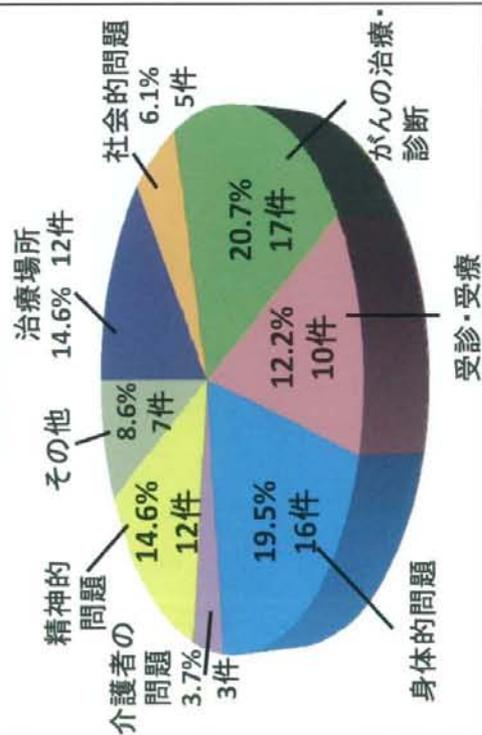
- 市民健康講座
- 自治会説明会
- 市民健康講座案内時
- 地域連携講習会
- 各がん拠点病院相談窓口
- 参加医療機関地域連携室
- リンクスタッフの事業所
- 市保健センター医療相談窓口



### ⑦ 長崎での「わたしのカルテ」の使用状況

長大病院	市民病院	麒麟病院	朝永病院	済生会病院	聖フラ病院
<b>現在の配布(対象者)</b> 患者への配布はなし、コメディカルスタッフと看護婦の研修に配布	<b>現在の配布(対象者)</b> 医師科、看護科、薬剤科、検査科、放射線科、理学療法科、作業療法科、リハビリ科、栄養科、介護科、在宅医療科、緩和ケア科、がん診療連携拠点病院指定科	<b>現在の配布(対象者)</b> がん診療連携拠点病院指定科	<b>現在の配布(対象者)</b> がん診療連携拠点病院指定科	<b>現在の配布(対象者)</b> がん診療連携拠点病院指定科	<b>現在の配布(対象者)</b> がん診療連携拠点病院指定科
<b>使用するための意見</b> ・使用患者の対応範囲を狭めてほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>使用するための意見</b> ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>使用するための意見</b> ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>使用するための意見</b> ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>使用するための意見</b> ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>使用するための意見</b> ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい
<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>今後の配布について</b> 対象者が少なく、配布が難しい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい
<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい	<b>その他</b> がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい ・がん患者だけでなく、家族や介護者にも配布してほしい

### 相談内容



### 「わたしのカルテ」患者説明用パンフレット

【PDFのダウンロード】

このパンフレットは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

わたしのカルテは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

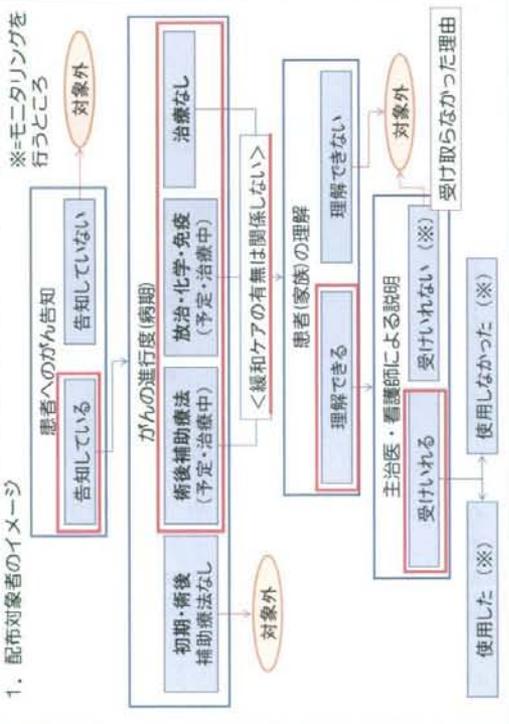
わたしのカルテは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

わたしのカルテは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

わたしのカルテは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

わたしのカルテは、がん患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。患者や家族が「わたしのカルテ」をどのように活用できるかを説明するためのパンフレットです。

### わたしのカルテ配布対象者アルゴリズム



## 2. がん患者・家族・地域住民への情報提供

### 一般市民向け研修

日時	会場	テーマ			講師
24日 14時～17時	長崎市医師会館	「がんの痛みにくるしまないで」			的場 元弘先生
参加者数	一般市民	医療従事者	その他	計	備考
	217	214		431名	
日時	会場	テーマ			講師
H20.11.29(土) 14:00～15:30	長崎市医師会館 7階 講堂	第16回 市民健康講座「がんの痛みにくるしまないで」～あなたの家にかえろう～			桜井 隆 先生
参加者数	一般市民	医療従事者	その他	計	備考
	71名	113名		184名	

### 長崎がん相談支援センター相談件数と相談内容

	電話	来所	訪問	延べ件数	備考
1. 治療場所に関する相談	8	8	2	9	1. 退院に向けた在宅主治医の情報
2. 社会的な問題に関する相談	4	2	0	3	在宅療養の希望
3. がん診断・治療に関する相談	15	7	1	13	3. 主治医との関係、セカンドオピニオン
4. 受診受療に関する相談	7	7	0	8	治療法の選択
5. 身体的な問題に関する相談	8	8	2	12	5. 痛み、食事に関すること
6. 介護者の問題に関する相談	4	2	0	2	7. 告知や治療選択をめぐる迷いや精神的落ち込み
7. 精神的な問題に関する相談	10	5	1	9	8. 経済的問題、連携マネージメント
8. その他	2	4	0	5	
計	58	43	6	61	

(相談者数は51名)

### 相談者

	人数
患者本人	11
患者家族	32
患者の友人・知人	1
介護支援専門員	4
訪問看護師	2
その他	1
計	51

### 相談経緯

	人数	備考
研修会・講演会に参加して	8	その他の内訳
病院・知人からの紹介	9	不明 新聞記事
ちらし及びパンフレット	4	医師会
電話帳	8	国立がんセンター
その他(不明を含む)	13	行政 包括支援センター
計	42	診療所 インターネット

## プログラム運用に係る主な会議と開催状況

- **長崎地域運営会議** 2カ月毎の定期開催 (5回)
- **コアリンクナースミーティング** 3カ月毎の定期開催(3回)
- **緩和ケアチームミーティング** 随時開催 (2回)
- **教育プログラムミーティング** 随時開催 (1回)
- **長崎がん相談支援センターミーティング** (28回)
  - ① 定例ミーティング・・・毎週木曜午後15時から
  - ② (必要時)ミーティング・・・1回
 テーマ「在宅医の選択相談に関する対応について」
- 長崎市における医療用麻薬管理運用作業部会 (2回)

## 「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」 事業計画と運営に係る会議



## 「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」

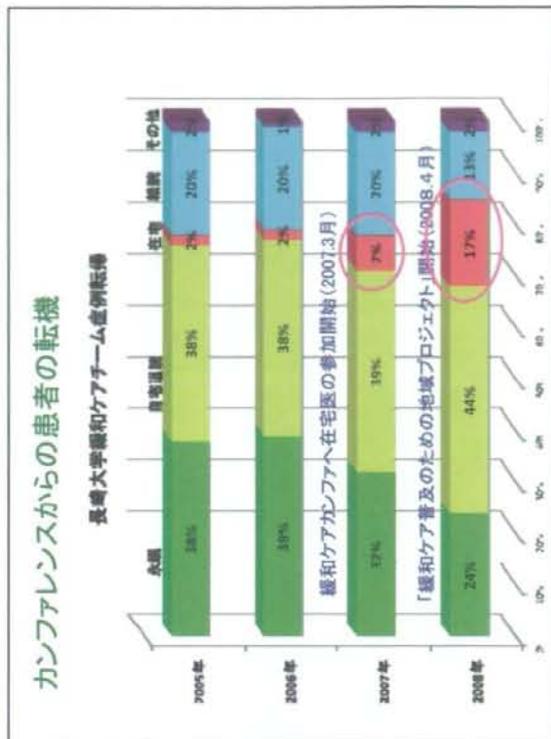
### 地域連携



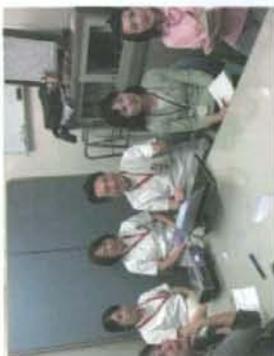
## ① 拠点病院の緩和ケアカンファレンスへの参加

目的 (ポイント・心得)

- 1) 大切なのは、患者さん・家族が今後どこで  
どのように過ごしたいと考えているのか  
⇒ **病院スタッフと共有**する。
- 2) 在宅療養を望む患者さん・家族に対して、  
入院中より**在宅スタッフ**がアプローチを行う  
⇒ **不安を抱える患者・家族の背中を押す**  
**緩和ケアチームによる橋渡し**
- 3) 医療依存度が高く、重篤でも、  
**在宅向けアレンジ**が可能である事を  
主治医科に対して具体的に情報を提供する。



② 長崎大学地域連携室とのハイリスクカンファランス



毎週水曜日：16時から1時間  
場所：長崎大学病院 地域連携室面談室

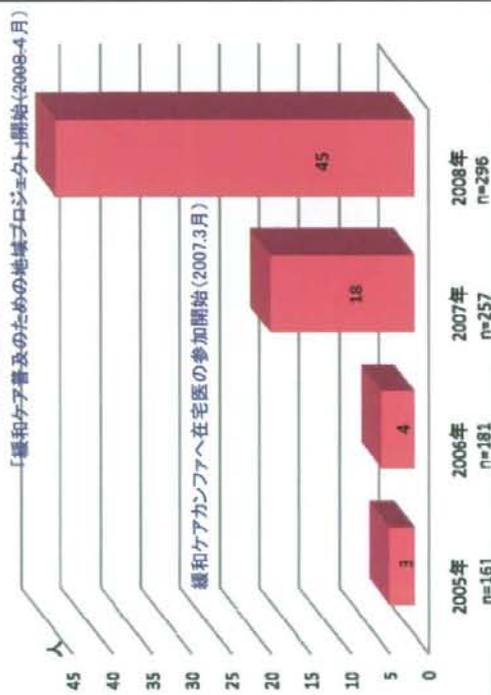
形式：「連携室が、退院調整困難例を2～3例提示し、がん相談支援センターの医師・看護師・訪問看護師（コアリンク）が輪番で参加し助言する。必要時直接、患者・家族に情報を提供する。



白昼

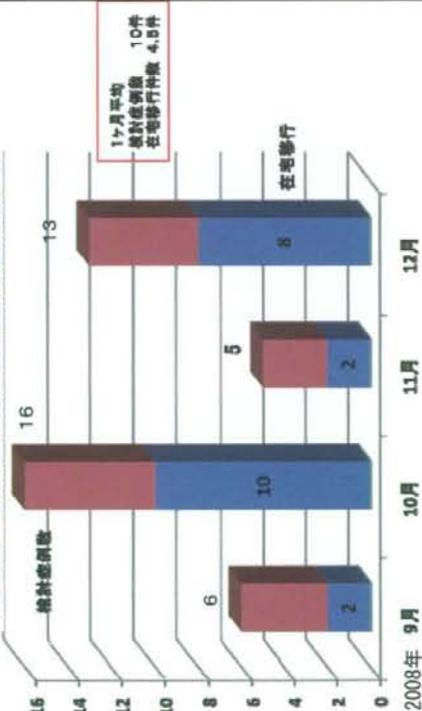
目的：がんに限らず、退院支援調整困難なケースに在宅側医療従事者として助言し、スムーズな在宅移行に向けた具体的連携を行う。

在宅移行実数



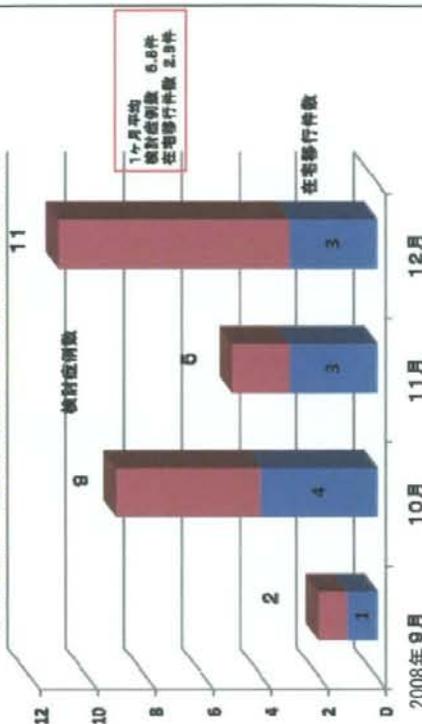
長崎大学ハイリスクカンファランス

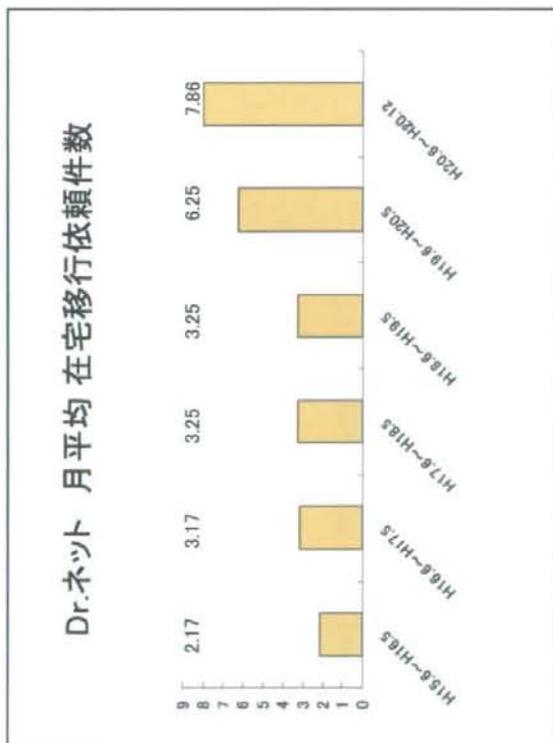
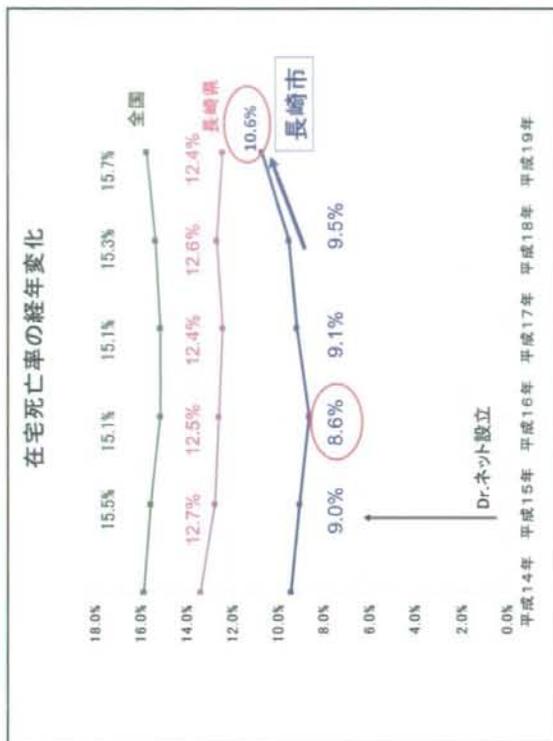
(全疾患～検討症例数と在宅移行症例数～)



長崎大学ハイリスクカンファランス

(がん症例～検討症例数と在宅移行症例数～)





- 緩和ケアチームカンファレンス・ハイリスカンファレンスへの参加で見えてきた がん患者を取り巻く医療の現状
- 1) 退院時期や退院時の状態について、  
病院医師のビジョンが明確でない
  - 2) 延命化学療法を終了時期が不透明で、終末期まで継続することも多い。ギアチェンジの概念そのものが不透明。
  - 3) 病棟看護師が、患者・家族とともに、退院後の生活をイメージする時間や機会がもてない。  
(病棟看護師の意識の変わりが求められる。)
  - 4) 病院スタッフ7割に、在宅医療や在宅療養の現場・システム等が具体的に见えていない。
  - 5) 施設内の退院調整システムや、在宅医療側との連携のしくみや方法が整っていない→在宅へ向けた課題の特定が選い。
  - 6) 介護力、住環境、経済力などのため、在宅療養の選択そのものが厳しい状況が増えている
  - 7) 病院側によって在宅移行後の医療費の具体的説明が難しい

④ 退院支援・退院調整プログラム

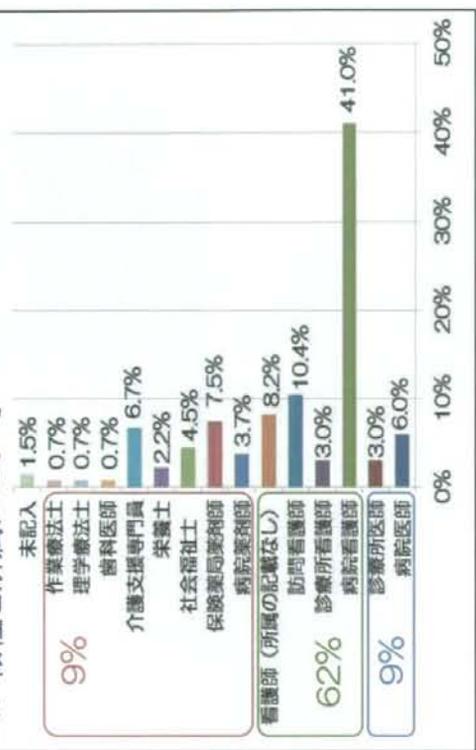
「退院支援・調整プログラムワークショップ」

平成20年6月19日(木)19:00から521:00

講師：山田 雅子先生（地域連携グループ・聖路加看護大学）  
 参加者数：274名(医師30名、看護師140名、MSW14名、  
 ケアマネ25名、その他20名)  
 アンケート実施：回答者135名（回答率59.3パーセント）



退院支援・退院調整プログラムアンケート(H20.6.19)の一部  
 1. 職種と所属について



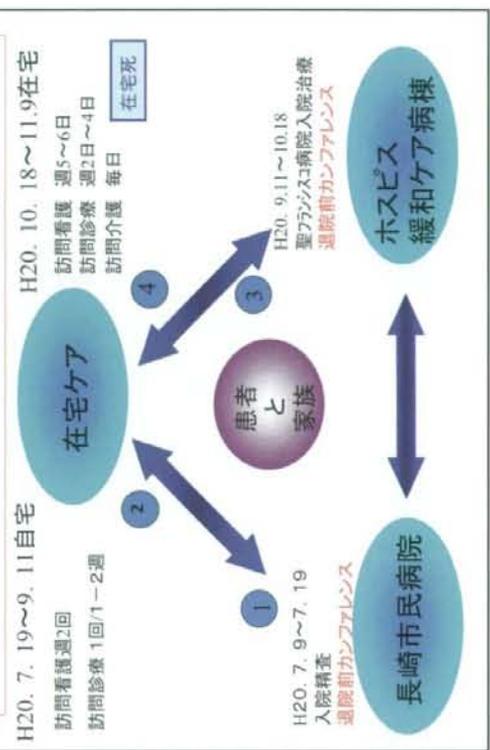
退院支援スクリーニングシートの活用効果

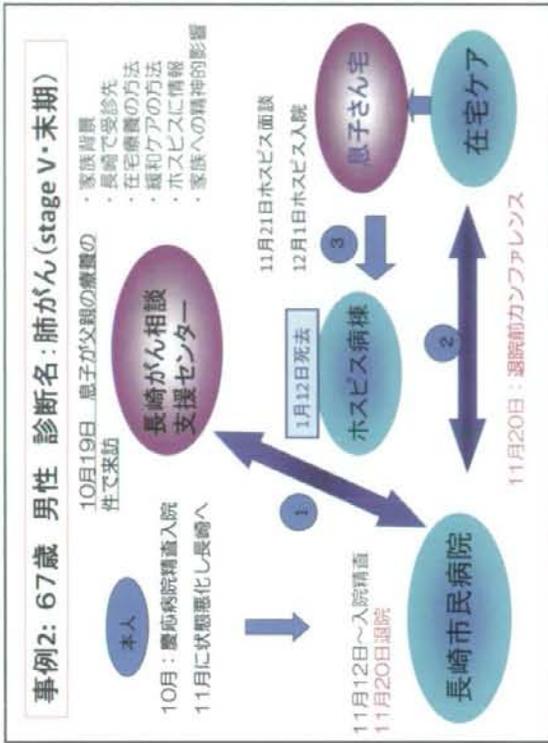
(例：長崎市立市民病院・地域連携室)

H20年1月～7月の7ヶ月間スクリーニングシートを全病棟で活用し、相談支援センターへの相談件数、介護保険申請数、退院前カンファレンス開催数を使用前7ヶ月と比較。

- 各病棟からのシート提出数は月ごとに増加。提出数は全入院患者の8%でそのうち3割が75歳以上。
- 相談数は1926件/7ヶ月で活用前の1.8倍に増加。
- 介護保険申請（125名/7ヶ月）は活用前の2.8倍に増加。
- カンファレンス数は16件/7ヶ月で活用前（12件）から微増。がん患者が9割で、このうち緩和ケアチームの介入は約4割。

事例1:83歳 女性 診断名:胆管がん(stage IV)





<ホスピス入院中、語った本人のQOL>

「あじさいの咲くころには私は私もういないでしょう」

「退院して2ヶ月の間、私が家にいることで家族が集まりました。もう一度、母として娘たちの役に立ちたい。帰りたい」

ホスピス主治医:「退院の予後」(黄疽、腹水あり)

<在宅での様子と担当看護>

日中は訪問介護(保険・自費)及び訪問看護(月～金)

週末は娘が泊まり介護と看護(娘は仕事を継続)

本人「娘2人が看護師なのかわたしの自慢。だからずっと仕事が続けられるように応援してきた。」

娘「仕事も続けながら、家で母を看取れてよかった。最後まで、母は自分たちを支えてくれ感謝している」

★在宅医・訪問看護師→ホスピス入院で、訪問終了と考えてしまっていた。本人の希望を引き出したホスピス看護師がよかった

★本人、家族のQOLはかなえられなかった。

ホスピス看護師→本人の意向を引き出し、望めば、ホスピスからの在宅移行を支援・調整する役割がある事を学んだ。

**長崎での退院支援・調整への取り組みの状況**

施設	退院調整のシステム	調整部署と活動状況	プログラムの活用	備考
長大病院 がん拠点	以前よりあり	地域連携推進室(看護科・NPOのスクリーニング)と看護科からの退院調整チームによる退院調整	カンファレンスのアジェンダに退院調整を盛り込み、退院調整の進捗は電子カルテで共有可	院内で緩和ケアチームがあり、年毎にはこれと併せてリリンクナーズとして活動。年度別
市民病院 がん拠点	パイロリストを 期にスクリーニ ング開始	地域連携推進室の看護師が退院調整の役割を担い、退院調整チームと連携しながら活動	自宅療養・退院が入院と同等のケアとして扱われ、退院調整チームのケースは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用
新橋病院 がん拠点	スクリーニング のみあり	地域連携推進室の看護師が退院調整の役割を担い、退院調整チームと連携しながら活動	退院調整し、退院プログラムを退院調整チームが担当し、退院調整チームは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用
朝永病院 ホスピス科棟	なし	看護部長が担当	退院調整し、退院プログラムを退院調整チームが担当し、退院調整チームは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用
済生会病院 一般病棟	なし	地域連携推進室の看護師・NPOが連携の体制に充てて活動	コアリンクナーズ以外に、退院調整チームが担当し、退院調整チームは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用
徳済会病院 一般病棟	なし	看護部長がアセスメント、NPOによる	コアリンクナーズと併せて活動し、退院調整チームは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用
聖フラ病院 ホスピス科棟	なし	地域連携推進室の看護師・NPOが連携の体制に充てて活動	コアリンクナーズと併せて活動し、退院調整チームは全員に活用	併発での退院の形が多い。退院調整チームは退院調整に力を入れており、退院調整チームは全員に活用

### 3.地域の緩和ケアの包括的なコーディネーション

#### 講演会・ワークショップ開催状況

日時	会場	テーマ							講師
6月19日19時～21時	長崎市医師会	「退院支援・調整プログラムワークショップ」							山田 雅子先生
参加施設数	病院	診療所	その他	計					備考
参加職種	医師	看護師	薬剤師	MSW	CM	その他	計	備考	
	30	140	45	14	25	21	275		

#### 緩和ケアチーム カンファランス出席状況（出席者は延べ人数）

	日時	4月	5月	6月	7月	主な出席者
大学病院	毎週水曜日 13:30～15:30	16人	12人	7人	14人	出口・松尾・船本・古川・林田・平山 (連携室調整から在宅移行…名)
市民病院	毎週水曜日 17:30～18:30	12人	7人	12人	13人	安中・行成・船本・吉原・十善会訪看 (連携室調整から在宅移行…名)
原爆病院	毎月第4金曜日 18:30～20:00	3人	3人	2人	開催 なし	影浦・行成・松島・船本・吉原・安中 (在宅移行…名)
	日時	8月	9月	10月	11月	主な出席者
大学病院	毎週水曜日 13:30～15:30	5人	14人	15人	15人	出口・松尾・船本・古川・林田・平山 (連携室調整から在宅移行…名)
市民病院	毎週水曜日 17:30～18:30	11人	11人	16人	8人	安中・行成・船本・吉原・十善会訪看 (連携室調整から在宅移行…名)
原爆病院	毎月第4金曜日 18:30～20:00	2人	3人	5人	4人	影浦・行成・松島・船本・吉原・安中 (在宅移行…名)
	日時	12月	1月	2月	3月	主な出席者
大学病院	毎週水曜日 13:30～15:30	11人	18人			出口・松尾・船本・古川・林田・平山 (連携室調整から在宅移行…名)
市民病院	毎週水曜日 17:30～18:30	10人	7人			安中・行成・船本・吉原・十善会訪看 (連携室調整から在宅移行…名)
原爆病院	毎月第4金曜日 18:30～20:00	開催 なし	4人			影浦・行成・松島・船本・吉原・安中 (在宅移行…名)

#### 退院調整カンファランスへの参加状況（8月、9月実績なし）

施設名	件数	備考
長崎市立市民病院	2件	緩和ケアカンファから1件・連携室から1件(がん患者)
聖フランシスコ病院	1件	連携室から1件(がん患者)
光晴会病院	1件	入院患者(がん)本人から…連携室MSW、病棟師長と調整

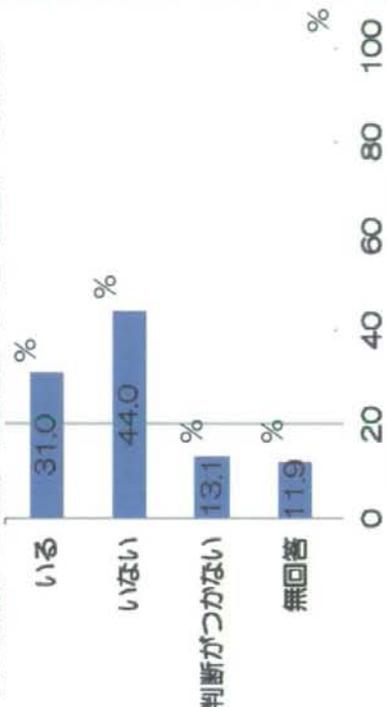
## 「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」

### 専門的緩和ケア



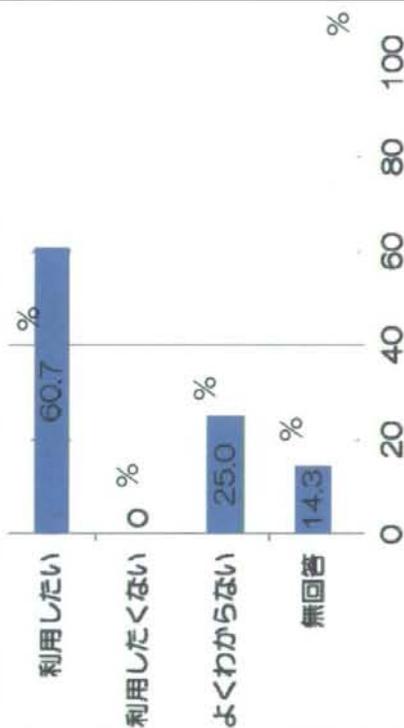
臨床教育プログラムワークショップアンケート(H20.4.24)の一部  
「現在、症状コントロールがうまくいかず、専門的なスタッフ  
に相談したいと考える患者がいますか？」

参加者総数：240名 回答者数：84名（回答率：35.0%）



臨床教育プログラムワークショップアンケート(H20.4.24)の一部  
「出張緩和ケア研修」を利用したいですか？

参加者総数：240名 回答者数：84名（回答率：35.0%）



## ② 地域緩和ケアチームのご案内

2008年4月

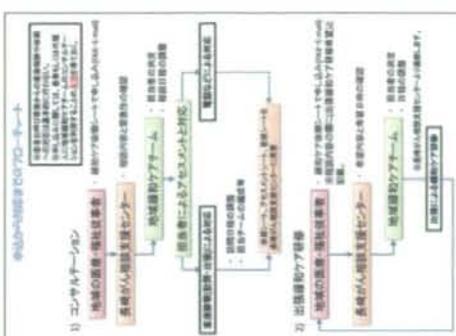
第1回地域緩和ケアチームミーティング

- ① 案内パンフレット配布先
- ② コンサルテーション依頼方法の周知
- ③ 症例予ターの保管方法
- ④ 定期的なコンサルテーションの4点を検討。

地域緩和ケアチームに関するアンケートを  
実施（次スライド参照）

4月、6月の長崎地域運営委員会で議論を  
重ねて、右記フローチャート作成。

7月に地域緩和ケアリンクスタッフ所属施設  
及び長崎市医師会A会員に「地域緩和ケ  
アチームご案内」を配布





#### 4.緩和ケア専門家による診療及びケアの提供

##### 地域緩和ケアチーム

##### 症例数

	電話	来所	FAX	E-mail	訪問	その他	計	新規	継続
地域、診療所からの相談	2	1	1	6			10		
出張コンサルテーション									
計									

##### 依頼内容

	4月	5月	6月	7月	主な相談内容
地域、診療所からの相談	1	2	2	1	疼痛コントロール・・・2件
出張コンサルテーション	0	0	0	0	オピオイドローテーション・・・1件
出張緩和ケア研修	0	0	0	0	セーテーション・・・1件 せん妄・不眠・・・2件
	8月	9月	10月	11月	主な相談内容
地域、診療所からの相談	0	2	2	0	9月・・・栄養相談1件、せん妄・不眠・精神症状1件
出張コンサルテーション	0	0	0	0	
出張緩和ケア研修	0	0	0	0	
	12月	1月	2月	3月	主な相談内容
地域、診療所からの相談	0	0			9月・・・栄養相談1件、せん妄・不眠・精神症状1件
出張コンサルテーション	0	0			
出張緩和ケア研修	0	1			1月17日 訪問看護ステーションYOU「医療用麻薬について」